



共感形成の社会基盤と ソーシャル・ビジネスを 活用した新産業創造の研究

日時
2018年
9月7日(金)
14:00~17:00

場所
同志社大学
東京オフィス
入場料 無料
事前申込不要

開催趣旨
本シンポジウムでは、ソーシャルキャピタル醸成による震災復興の例として、気仙沼市での事例を取り上げ、特に唐桑地区における伝統文化と歴史性を媒介としたソーシャルキャピタル醸成の試みに焦点を当て、災害からのコミュニティの復興に向けてどのような方法が有効であるかを議論し、知見を共有化することを目的としている。

パネリスト
山内 直人 大阪大学大学院 国際公共政策研究科 教授
白幡 勝美 気仙沼市前教育委員会教育長
菅原 昭彦 気仙沼商工会議所会頭
伊多波 良雄 同志社大学 経済学部 教授
松野 光範 同志社大学 ライフリスク 研究センター嘱託研究員

コーディネーター
八木 匡 同志社大学 経済学部 教授

スケジュール
▷ 14:00~15:00
成果報告
八木 匡 同志社大学 経済学部 教授
松野 光範 同志社大学 ライフリスク 研究センター嘱託研究員
▷ 15:15~16:45
パネルディスカッション
「ソーシャルキャピタル醸成による地域活性化の課題と可能性」

お問い合わせ先
同志社大学 創造経済研究センター事務局
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
Tel 075-251-3728 Fax 075-251-3727
E-mail rc-csce@mail.doshisha.ac.jp
創造経済研究センターHP
<http://csce.doshisha.ac.jp>

主催 / 共催
主 催：同志社大学創造経済研究センター
共 催：同志社大学ライフリスク研究センター

共感形成の社会基盤とソーシャル・ビジネスを 活用した新産業創造の研究

パネリストプロフィール



山内 直人 (大阪大学大学院 国際公共政策研究科 教授)

愛媛県松山市生まれ。1978年大阪大学経済学部卒業。大阪大学博士。経済企画庁(現内閣府)に入り、官庁エコノミストとして経済白書の執筆などに従事。大阪大学経済学部助教授などを経て、2002年より大学院国際公共政策研究科教授。イェール大学客員研究員、内閣府客員主任研究官などを歴任。公共政策の実証分析が専門で、日本公共政策研究機構代表も務める。



白幡 勝美 (気仙沼 ESD/RCE 推進委員会委員長、NPO「森は海の恋人」舞根森里海研究所客員研究員、唐桑大漁唄込復活推進実行委員会会長)

宮城県立気仙沼高等学校校長を退職後、気仙沼市立図書館長を経て、気仙沼市教育委員会教育長に就任。2016年に退任するまで地域全体で子どもを育てる体制づくりと学びを通じた地域コミュニティ形成を目指し、ESD(持続発展教育)を中心とした協働教育を推進し子たちの地域への誇りの醸成に力を注いだ。退任後は気仙沼市唐桑町に住み、地域の持続的な発展と科学や技術が文化として広がることを願い、森は海の恋人運動やESD、SDGsを中心に活動している。



菅原 昭彦 (気仙沼商工会議所会頭、株式会社「男山本店」代表取締役社長)

気仙沼の風土を生かした人と人とのつながり、人と自然とのつながりを大切にしたい地米酒(地元で造った酒米で造る地酒)づくりを目指す。日本の先駆けとなった気仙沼のスローフード運動やNPO研修情報センター理事、気仙沼まちづくりセンター常務理事、気仙沼まちづくり協働推進委員会委員長などの要職をつとめ、市民主体の気仙沼のまちづくりをリードし、南町・魚町を中心とする気仙沼の特徴的な商店街である内湾地区の復興を「スロー」というキーワードで推進している。

他に、リアスアーク美術館協議会会長をつとめ伝統文化・芸術にも造詣が深い。



伊多波 良雄 (同志社大学 経済学部 教授)

同志社大学大学院経済学研究科修了。現在、同志社大学経済学部教授。主要著書としては、『基礎から学ぶ財学』(晃洋書房、2016年)、『これからの大学経営』(晃洋書房、2018年)などがある。幸福観分析やソーシャル・キャピタルについて研究。



松野 光範 (同志社大学 ライフリスク研究センター嘱託研究員)

1976年同志社大学法学部卒業。サッポロビール株式会社に入社。在職中、同志社大学大学院総合政策科学研究科にて修士号・博士号を取得。サッポロビール株式会社退職後、大阪学院大学経済学部准教授。2013年秋より定期的に気仙沼を訪問し震災復興のためのソーシャル・ビジネスについて調査・研究活動を継続。2017年大阪学院大学を定年退職し、札幌市に在住。

コーディネータープロフィール



八木 匡 (同志社大学 経済学部 教授)

京都大学経済研究所助手、名古屋大学経済学部助教授を経た後、現在同志社大学経済学部教授、日本経済学会理事(2002年～2007年)、文化経済学会<日本>会長(2018年～)

主著:European Economic Review等海外学術雑誌等に論文を多数掲載。『教育と格差』、『スポーツの経済と政策』、『スポーツの組織文化と産業』、The Kyoto Manifesto for Global Economics: The Platform of Community, Humanity, and Spirituality等の著書を執筆。